

報 道 機 関 各 位

令和 7 年度被災建築物応急危険度判定模擬訓練の開催

県では、地震で被害を受けた建築物の危険度を判定する「被災建築物応急危険度判定士」養成のため、判定技術の習得を目的とした模擬訓練を毎年実施しています。

今年度の訓練を下記により実施しますので、当日の取材について特段の御協力をよろしくお願いいたします。

記

1 実施日時

令和 7 年 10 月 14 日（火） 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

2 実施場所

（1）判定ガイダンス：最上町中央公民館 2 階みどりホール（最上町向町 674）

午後 1 時 30 分～2 時 25 分、3 時 40 分～4 時 30 分

（2）判定模擬訓練：元瀬見駐在所（最上町大字大堀字割地 725 番地 14）

午後 2 時 40 分～3 時 25 分

3 内 容

地震により被災したと想定する実際の建築物を使用して、2 人一組となり応急危険度判定の模擬訓練を行う。

4 参 加 者

県・市町村・民間の判定士 約 15 名

5 そ の 他

（1）駐車場所は、模擬訓練会場敷地内となります。

（2）カメラ撮影は、随時可能です。

（3）参加者へのインタビューは、模擬訓練終了後にお受けいたします。

被災建築物応急危険度判定は、地震発生後の余震等による建築物の倒壊や部材の落下などによる二次災害を防止するために実施されています。

令和元年 6 月 18 日に発生した山形県沖を震源とした地震において、県内の判定士が判定活動を実施しました。

また、平成 28 年 4 月の熊本地震では、県内から 10 名の判定士を派遣し、判定業務を行いました。（別紙参照）

【問合せ先】

山形県県土整備部建築住宅課

建築物安全対策主幹 鈴木 淳一

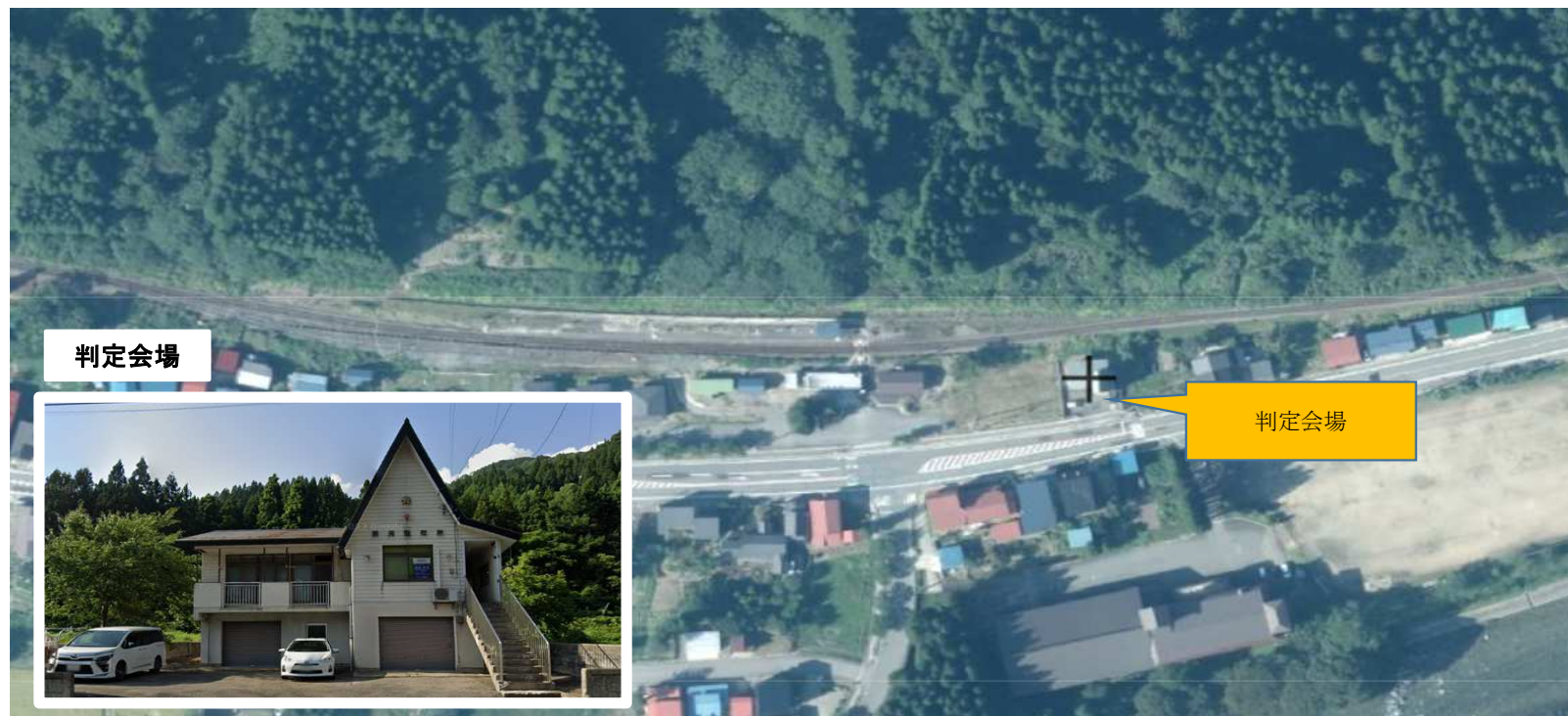
電話：023-630-2657

広報監 県土整備部次長 牧野 義幸

【判定拠点、判定会場】



【判定会場周辺】



■ 山形県被災建築物応急危険度判定模擬訓練実施状況



判定活動の事前説明（判定ガイダンス）



外観の被害状況確認



講評

◆熊本地震での山形県からの被災建築物応急危険度判定士派遣状況◆

派遣先 熊本県熊本市、益城町
派遣期間 平成28年4月25日（月）～4月29日（金）
派遣人数 県、山形市、天童市、鶴岡市の職員 計10名

【被災建築物応急危険度判定状況写真】



木造建築物被害状況



下げ振りによる建物の傾きの確認状況



給湯設備被害状況



下げ振りによる建物の傾きの確認状況



鉄筋コンクリート造建築物被害状況



判定結果をステッカーにより周知